

Cente Technical Information

発行番号	002-0006	Rev	第1版	発行日	2010/04/02
題名	書込みエラー発生時に、正しい戻り値を返さない問題について				
情報分類	技術情報				
適用製品	Cente Compact FileSystem Ver1.00 ~ Ver1.01				
影響API	fwrite				
関連資料	なし				

【詳細】

fwrite()では戻り値として「出力に成功したメンバ数」を返すが、一部のエラー処理で「出力に成功したメンバ数」を算出するための計算式に誤りがあったため、戻り値を正しく返すことができない場合がある。

【症状】

「出力に成功したメンバ数」を正しく取得することができない。

【回避方法】

■運用での回避方法

以下の条件を満たすことにより、運用で回避することが可能です。

- ・書込み開始クラスタの先頭から書込み終了位置までのサイズが、クラスタサイズのWRITE_CLUSTER(fs_cfg.h)倍未満になるように書込みサイズを指定する。

■プログラム修正による回避方法

fs_ansi.cのfsh_fwrite()に修正が必要です。

【fs_ansi.c 1853行目】

《修正前》

```
r_size += (clst_sz * chain);
```

《修正後》

```
r_size += tmp_sz;
```

以上